



食品が不足しています！

いつもお世話になりありがとうございます。

2020～2022年は年間500トンを超える食品を収集できましたが、2023年454トン、2024年442トンと漸減傾向にあり、今年は1～3月で毎月対前年10%減の状況となっており、このままいけば今年の収集量は400トンレベルになりそうです。

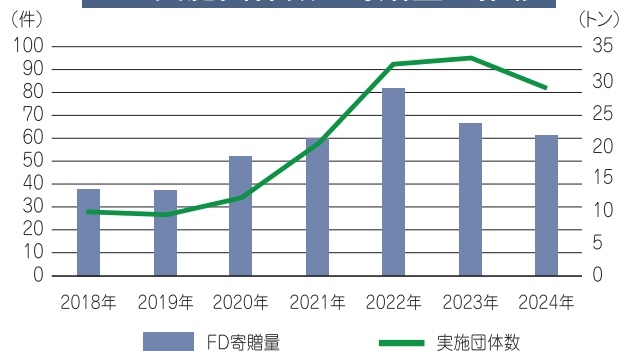
そのため昨年11月からボランティアによる営業隊があいさつ回りを兼ねて食品会社を訪問しております。食品製造各社が見込み生産から確定生産に徐々に切り替えて余剰品の発生しにくい仕組みに注力しているため、食品各社からの収集量増は残念ながら望み薄です。

寄贈だけでは十分な量の食品を入手できず、ニーズに合った食品の入手に苦労していることから、昨年は約5トン(4百万円分)の食品を購入しました。また、米の寄贈が極端に減少するなか政府備蓄米のフードバンクへの放出の活用とともに更なる米の購入が必要と思われます。

しかしながら、食品不足だからといって困窮者支援を縮小するわけにはいきません。食品収集の手段として、セカンドハーベスト名古屋(以下、2HN)は今後さらにフードドライブに注力したいと考えています。2HNの個人支援は、困窮する個々人の細やかなニーズに寄り添った食品箱を即日発送すると

いう速達性を特徴としており、箱を受け取る人たちや相談窓口の行政担当者から支持を得ています。個人支援で使用する食品を集めるために、多種多様な食品が集まるフードドライブはとても有難い支援です。

FD実施団体数と寄贈量の推移



フードドライブは会社や学校だけでなく人が集まる場所なら、いつでも誰でもできる身近な社会貢献活動です。コロナ禍以降、全国で広がりを見せてきましたが、最近は物価高などの影響でフードドライブの実施回数や寄贈量も少しずつ減少傾向にあります。誰もが非常に厳しい状況ではありますが、少しずつでも持ち寄ることができる支援活動として、ぜひフードドライブ開催を検討いただき、どこかでフードドライブを実施しているのを見かけたら1個でも構いませんので、ぜひ持ち寄りいただきますようお願いいたします。



2HNの活動を紹介する動画を作成しました。ぜひご覧ください。

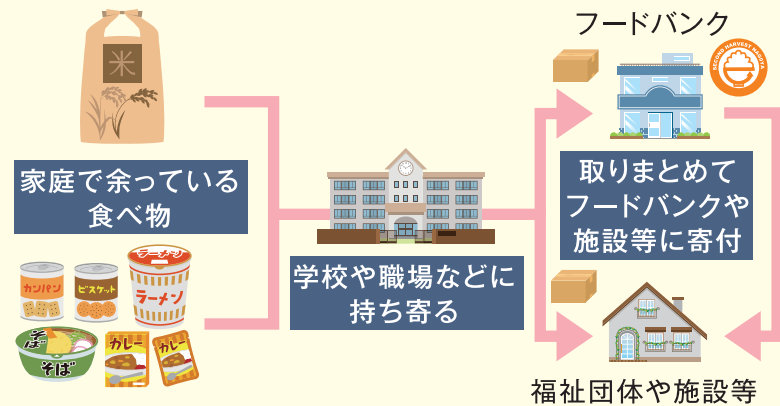
CONTENTS

理事長からのあいさつ	p.1
フードドライブ特集	p.2～3
ケアリーバー支援	p.4

ほんの少し、誰かのために フードドライブをはじめてみませんか？

フードドライブとは

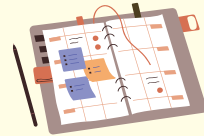
家庭で余っている食品を学校や職場などに持ち寄り、それらを取りまとめて地域の福祉団体やフードバンクなどに寄付する活動です。学校や職場だけではなく、地域のイベントなど人が集まる場所ならいつでもどこでもだれでもできる「参加型」のボランティア活動です。



STEP 1

実施日時と場所の決定

フードドライブを実施する場所、期間、寄贈先を決めたら、寄贈先との打ち合わせ（集める食品の内容確認、寄贈時期など）をしましょう。



STEP 2

事前告知

チラシやポスター、ホームページ、SNSなどで、フードドライブの開催を告知しましょう。場所、期間のほか受け取り出来る食品の種類や賞味期限の記載もあるとわかりやすいです。

どんな食品を集めたらいいの？

- お米
- パスタ、乾麺、カップ麺
- 缶詰、レトルト、インスタント食品
- 調味料、お菓子、飲料等



受け付けできない食品は？

- 賞味期限1か月未満のもの
- 賞味期限や成分の表示がないもの
- 生鮮食品や冷蔵冷凍品
- アルコール類

STEP 3

フードドライブ実施

一般的に用意するもの：筆記用具・長机・イス・食品を入れる箱・のぼり・案内看板

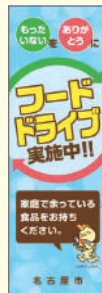
① 名古屋市内の企業・学校の場合

名古屋市が回収ボックスやのぼり旗の貸出などの支援を行っています。



回収ボックス

名古屋市 職場フードドライブ 検索



のぼり旗

② 市外の団体の場合

2HNでもテーブルクロスやのぼりの貸出を行っています。



テーブルクロス



のぼり旗

STEP 4

集めた食品の引き渡し

フードドライブで集めた食品を寄贈先に持ち込みます。※フードドライブで寄贈される食品は、少量・多品種となる傾向があるため、2HNでは受け入れ後に必ず全品計量・検品を行います。その後、各世帯の状況にあった食品を選んでお渡しする「個人支援箱」に使わせていただきます。



名古屋市環境局のフードドライブ

名古屋市では下記2か所でフードドライブを開催しています。

開催日時 毎月8日から14日まで（休館日を除く）
午前9時半から午後5時

受付場所1

環境学習センター
（エコバルなごや）

中区栄一丁目23-13
伏見ライフプラザ13階
（最寄駅：地下鉄「伏見」）



受付場所2

なごや
生物多様性センター

天白区元八事五丁目230
（最寄駅：地下鉄「塩釜口」）



名古屋市環境局では、食品ロスの削減に向けフードドライブを推進しています。

今後も引き続きセカンドハーベスト名古屋様と連携し、民間団体等の取組みを後押ししてまいります。職場等でフードドライブを実施してみませんか？

名古屋市環境局 尾上様



名古屋市とフードドライブ協定を締結しました！

2025年3月に名古屋市環境局とフードドライブの推進に関する連携協定を締結しました。2HNは9年以上前から名古屋市環境局と協力し、フードドライブの実施や環境デーなごやへの共同出展などを行ってきました。今後もフードドライブ活動の円滑な実施、地域における資源循環を一層進めるために、名古屋市と協力して活動を推進してまいります。



フードドライブ実施の取組事例

企業

豊田合成

毎年夏冬の2回、グループ会社を含む16拠点でフードドライブを実施

連合愛知

毎年メーデーの期間にあわせてフードドライブの取組みを行う他、組合の皆さんにフードドライブの活動を推進

小売店舗

良品計画

愛知県内の無印良品14店舗にて、1年を通してフードドライブを実施

バローホールディングス

東海3県のバロー、V・ドラッグ、アクトス202店舗にて、フードドライブポストを設置

（企業・団体名 敬称略）



豊田合成
社会貢献推進センター
伊藤様

社内での防災備蓄品を寄贈した際にフードドライブの活動をご紹介いただき、まずはやってみよう（従業員の協力を仰ごう）と思いました。以降、我々事務局も社内のあたたかい気持ちに毎回感謝しています。

スポーツイベント 名古屋ダイヤモンド Dolphins

社会的責任プロジェクト「Dolphins Smile」一環で、2020年より継続的にホームゲーム会場でフードドライブを実施しています。

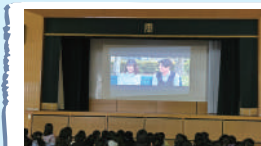
また、ファンから集めた募金を元手に「ドルフィンズ米」を作り子ども食堂に新米をお届けしています。

名古屋ダイヤモンド Dolphins 須賀様



学校 名古屋市立大宝小学校の事例

講演 社会科の流通について学ぶ授業で、生産者や販売者が一生懸命作ったり売ったりしたものが無駄にならないようにするための取り組みの一つとして、2HNスタッフが講演し、フードドライブに興味を持ってもらいました。



映画鑑賞

フードバンクを題材にした映画「あおとみどり。」を鑑賞

フードドライブ実施

「自分たちも協力したい」と児童の皆さんがフードドライブを計画。ポスターなどを作成して協力を呼び掛け、全校の児童や職員がフードドライブに参加していただきました！



ケアリーバー支援の現場の声

2HNでは、社会的養護施設等を退所したケアリーバーを対象とした食料支援を行っています。毎月の支援のほか、「仕事を辞めてしまった」「生活費が足りない」等、生活が大変になった時に出身施設を通して随時支援も行っています。2HNが連携している東海エリアの29の施設や支援団体のうち、今回は2つの社会的養護施設担当者からお話を聞きました。

母子生活支援施設

愛知昭和荘



安定した生活の目処が立ったり、入所における施設職員の支援が必要でなくなったり、子どもの入学や進学タイミングだったり、様々な問題を抱えて入所した母子が様々な理由で退所します。当施設はケアリーバーの実家のような存在を目指しており、職員は退所者のアフターケアに力を入れています。退所間もない母子へのはがき送付、子どもやお母さんの誕生日に送るスタッフの寄せ書き、施設のお祭りへの招待など、ケアリーバーが気軽に話ができる機会をもうけ、困りごとを打ち明けられたら相談に乗っています。こちらから根掘り葉掘り聞いたり口を出したりするようなことはせず、遠くから見守ることを大切にすることもあります。

調理ができないなどの理由で毎月の食料支援が負担になって中断する人もいますが、多くのケアリーバーは2HNの食料支援をありがたく利用させていただいています。「すべてたいへんありがたいです」の一言に尽きますが、やはりいちばん喜ばれるのは高騰しているお米と子どもたちが好きなお菓子です。

本年度のケアリーバー支援10人のうち9人は昨年からの継続です。子どもたちの成長とともに食べる量が増えたり学費がかかったりするのを、母親の収入だけで支えるのは困難です。自分の病気や育児のために働けない人、正規雇用を退職して不安定な職に就いている人たちが、少なからず不安を抱えた生活のなかせめてお腹いっぱい食べて元気に過ごしてほしいです。2HNから継続的な食料支援を頂いていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

児童養護施設

名古屋文化キンダーホルト



高校卒業後の進学や就職のタイミングでここを出る子どもが多く、2025年春から新たに3人が2HNのケアリーバー支援を受けています。担当職員へ連絡が入ったり施設のお祭りなどに来たり、卒園した子どもたちと施設との関わりは退所後もあり、子どもたち同士も連絡を取り合っているようです。施設と音信不通になった子から、ほかの子を通じて連絡が来ることもあります。

毎年、「卒園生の集い」へ配偶者や自分の子どもを連れての参加者もいて、親戚の集まりのような賑わいです。時々、遊びに行っている？と言う電話になります。子どもを連れてきたり話を聞いてほしくて遊びに来ます。子どもたちからは、「だってここ実家じゃん」と言われて子ども達にハッとさせられる事もあります。また、自立した子が仕事が続かず家賃も払えず生活のリズムを立て直すために一時的に暮らす部屋もここにありますが。

なんとか仕事を続けていても、精神的な病気のため収入が安定しない子、自活に必要な金銭感覚が身についていなくて借金を負っている子、最初に勤めたブラック企業を辞めて以来職を転々としている子など、ケアリーバーたちが抱える問題は特別なものではありません。行政の福祉に頼るかどうかのぎりぎりの生活を送る子たちにとって2HNの食料支援は大きな支えです。

男の子たちは「すぐに食べられるものもいい、レトルトがいい」と言いますがやっぱりお米がいちばんです。施設にいるときはあまりお米を食べなかった子も、自立してみてもお米の大切さに気付くようです。男の子も女の子もごはんを炊くことができる子は、ひとまず大丈夫かなと思います。

寄付のお願い

いつも2HNの活動へのご理解、ご協力をありがとうございます。私たちの活動は、皆様からの寄付金、会費、助成金などにより支えられています。

今後も皆様のあたたかいご支援、何卒よろしくお願いいたします。

※2HNは名古屋市の認定NPO法人で、2HNへの寄付は所得税の寄附金控除の対象となります。

銀行振込

三菱 UFJ 銀行 栄町支店 普通口座 0015287

特定非営利活動法人 セカンドハーベスト名古屋

※領収書が必要な方は、info@2h-nagoya.org までご連絡ください。

クレジット カード

単発での寄付だけではなく、毎月の継続寄付メニューもご用意しております。

■ 1,000円/月 ■ 3,000円/月 ■ 5,000円/月 ■ 10,000円/月

セカンドハーベスト名古屋 寄付

